

第 18 回神奈川県障害者スポーツ大会実施要領

1 目的

この要領は、神奈川県障害者スポーツ大会実施要綱の規定に基づき、令和 6 年度に開催する第 18 回神奈川県障害者スポーツ大会（以下、「県大会」という。）の実施、運営に関して必要な事項を定めるものとする。

2 期日及び会場

別紙 1 「1 期日及び会場」のとおりとする。

3 競技種目及び障害区分

別表 I 「第 18 回神奈川県障害者スポーツ大会競技・種目表」のとおりとする。

4 競技会別実施内容

(1) ボウリング競技会（知的）

① 集合時間 午前 9 時 開会式 午前 9 時 30 分

② エントリー

エントリーに特別の制限はない。

③ 競技方法等

ア 順位は、2 ゲームトータルで決定する。

イ ユニホームは自由とし、ゼッケンは付けないものとする。

(2) アーチェリー競技会（身体）

① 集合時間 午前 9 時 開会式 午前 9 時 30 分

② エントリー

エントリーは、競技参加者一人について「30m ダブル R」、 「50m・30m R」 から 1 種目とする。

③ 競技方法等

ア 弓具及び防具等は、競技参加者が用意する。

イ ユニホームは自由とし、ゼッケンは付けないものとする。

(3) フライングディスク競技会（身体・知的）

① 集合時間 午前 9 時 30 分 開会式 午前 10 時

② エントリー

エントリーは、競技参加者一人について「ディスタンス」及び「アキュラシー（5 m または 7 m）」のうちから 1 種目ずつ、計 2 種目までとする。

③ 競技方法等

ア 競技に使用する用具（ディスク等）は、大会事務局（以下、事務局）が用意する。

イ 競技参加者は、ユニホーム（上着）の胸部及び背部にゼッケンを付けるものとする。

(4) 陸上競技会 (身体・知的)

- ① 集合時間 午前9時30分 開会式 午前10時
② エントリー

エントリーは、競技参加者一人について2種目まで(リレー競技を除く。)とする。

種目選択については、原則、「トラック(スラロームを除く。)」・「スラローム」・「跳躍」・「投てき」競技のうちから各競技1種目ずつ計2種目までとするが、「トラック(スラロームを除く。)」競技のみにエントリーする場合に限り、「トラック(スラロームを除く。)」競技から2種目選択できるものとし、「トラック(スラロームを除く。)」競技から2種目選択する場合は、第3希望まで選択し、その中から主催者が出場種目2種目を決定する。

ただし、50mと100mは全区分において両方に申し込むことはできない。

③ 競技方法等

- ア 競技は原則として予選は行わず、決勝のみとする。
イ 競技順は、原則としてプログラム記載の順とする。
ウ 競技参加者は、ユニホーム(上着)の胸部及び背部にナンバーカードを付けるものとする。
エ 車椅子で100m以上の競走種目に出場する競技参加者は、ヘルメットを用意し、ヘルメットを着用して競技しなければならない。
オ 競技に使用する用具(車椅子、ヘルメット・アイマスクを除く。)は、事務局が用意する。
カ 4×110mリレーは男女混合とする。
キ スタートはイングリッシュコールとする。
ク フライングは1度で失格とする。
ケ 立幅跳での声、音源による援助を禁止とする。
コ 障害区分24は全ての種目において光を通さないアイマスクを装着し競技しなければならない。
サ 障害区分25で競走競技に出場する場合は、全種目において伴走を認める。

(5) 卓球・サウンドテーブルテニス競技会 (身体・知的・精神)

- ① 集合時間 午前9時30分 開会式 午前10時
② エントリー

エントリーに特別の制限はない。

③ 競技方法等

(卓球)

- ア 競技は、男女シングルス・トーナメント方式で行い、1ゲーム11点、5ゲームズマッチとし、3ゲーム先取により勝敗を決定する。
イ 使用球は、日本卓球ルールの規定する公式球とし、事務局が用意する。
ウ ラケットは、規則にあったものを競技参加者が用意する。
エ 競技参加者は、ユニホーム(上着)背部にゼッケンを付けるものとする。

(サウンドテーブルテニス)

- ア 競技は、男女シングルス・トーナメント方式で行い、1ゲーム11点、3ゲームズマッチとし、2ゲーム先取により勝敗を決定する。
イ 使用球は、直径が4.0cmの球体で、その中に金属球4個が入った総重量3.6g~3.8gのものとし、事務局が用意する。
ウ 競技参加者は、光を通さないアイマスクを用意し、必ずつけることとする。

- エ 競技参加者の手袋の使用は認めない。
- オ ラケットは、規則にあったものを競技参加者が用意する。
- カ 競技参加者は、ユニホーム（上着）背部にゼッケンを付けるものとする。

(6) 水泳競技会（身体・知的）

- ① 集合時間 午前9時30分 開会式 午前10時
- ② エントリー
エントリーは、競技参加者一人について、「自由形」、「平泳ぎ」、「背泳ぎ」、「バタフライ」競技（泳法）から各競技1種目ずつ、計2種目までとする。（リレー競技を除く。）
- ③ 競技方法等
 - ア 競技は、原則として予選は行わず、決勝のみとする。
 - イ 競技参加者は、水泳帽を用意し、必ず着用することとする。
 - ウ 競技参加者は、招集場所で確認できるよう事務局が用意するIDカードを付けるものとする。
 - エ 4×50mリレー、4×50mメドレーリレーは男女混合とする。
 - オ 障害区分23は全ての種目において光を通さないゴーグルを装着し競技しなければならない。
 - カ スタートはイングリッシュコールとする。

(7) ボッチャ競技会（身体）

- ① 集合時間 午前9時30分 開会式 午前10時
- ② エントリー
エントリーに特別の制限はない。
- ③ 競技方法等
 - ア 試合は1対1の個人戦の2エンドで行う。
 - イ 試合は立位の部、座位の部に分けて行う。
 - ウ 1エンドずつの得点を積み上げていき、2エンドの総得点で勝敗を決める。
 - エ 2エンド終了時に同点の場合タイブレイクで勝敗を決める。
 - オ 試合はトーナメント方式で行う。
 - カ ジャックボールを含めた各競技者の投球時間の合計は、1エンドあたりそれぞれ6分とする。
 - キ 競技参加者は、ユニホーム（上着）胸部にゼッケンを付けるものとする。
 - ク 使用球は、重量 275g±12g、周長 270mm±8mm の球体で、赤色ボール6個、青色ボール6個、白色の目標球1個を事務局が用意する。
 - ケ 個人所有のボールを使用しても構わないが、大会前にボール検査を実施し、基準を満たしていない場合には、事務局が用意したボールを使用しなければならない。

5 競技運営

「4 競技会別実施内容」のとおりとする。

ただし、出場者が少ない障害区分については、類似した障害区分の者を一緒に競技させることがある。

6 実施態度の決定及び連絡

主催者は、原則として各競技会開催 2 日前の午後 3 時に実施態度を最終決定し、事務局へ連絡を行う。主催者から連絡を受けた事務局は、各市町村障害者スポーツ主管課へファクシミリ及び電子メールによる連絡を行う。なお大会当日の朝に、ラジオ放送（1422kHz）及び、事務局の X（旧 Twitter）にて実施の周知を行う。

ただし、実施態度決定後であっても、天災、台風等特段の事情のあるときは、中止なども踏まえた決定を行うこととする。

7 参加人員及び申し込み

(1) 各競技会の申し込み期限は、別紙 1「2 申込締め切り」のとおりとする。

(2) 各競技会の参加希望者、障がい福祉施設等は、別紙 2（各競技会別申込書）に必要事項を記入し、（公財）神奈川県身体障害者連合会に申し込むものとする。

※ 別紙 2「参加申込書（各競技別申込書）」は郵送のみの受付とする。（FAX 不可）

(3) 施設を利用されている方で、個人で申し込みをされる場合、または障がい福祉施設等から申し込みをされる場合は、申込書とともに、施設より、在籍を証明する書類の提出を必須とする。

8 大会事務局（予定）

（公財）神奈川県身体障害者連合会

〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3-17-2 神奈川県社会福祉センター内

電話：045-311-8736 ファクシミリ：045-316-6860

9 参加種目及び組合せの決定

提出された参加申込書に基づき事務局が資格審査し、参加種目及び組合せを決定する。

10 後援

神奈川県市長会、神奈川県町村会、日本赤十字社神奈川県支部、（公財）神奈川県スポーツ協会、（福）神奈川県社会福祉協議会

11 協力

（一財）神奈川陸上競技協会、神奈川県卓球協会、（一社）神奈川県水泳連盟、神奈川県アーチェリー協会、かながわ障がい者フライングディスク協会、神奈川県サウンドテーブルテニス協会、神奈川ボッチャ協会、神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会、（福）神奈川県総合リハビリテーション事業団、（一社）神奈川県障がい者スポーツ協会などの関係団体から協力を得て実施する。

12 その他

(1) 当該大会では、主催者が記録として写真や動画の撮影を行い、撮影した素材は、後日、主催者の広報活動等に使用する場合がある。また、メディア等の取材があった際には、画像掲載、映像放映される場合がある。

(2) 天候等の状況により、大会自体の中止や日程変更、集合時間の変更等の可能性がある。